

令和6年度 秋学期
授業評価アンケート結果

令和7年3月28日
滋賀文教短期大学

1. 目次

ページ	内容	
1	1. 目次	
1	2. 授業アンケートについて	
2	3. 授業アンケート質問項目	
3	4. 授業アンケート集計結果	(1) 全学
4		(2) 国文学科全体
5		(3) 国文学科1年生
6		(4) 国文学科2年生
7		(5) 子ども学科全体
8		(6) 子ども学科1年生
9		(7) 子ども学科2年生
10	5. 全学的考察	(1) 授業アンケート結果について
11		(2) 授業の質向上のために
12	6. 国文学科全体の考察	(1) 授業アンケート結果について
13		(2) 授業の質向上のために
13	7. 子ども学科全体の考察	(1) 授業アンケート結果について
15		(2) 授業の質向上のために
15	8. 授業アンケート回答率の推移	

2. 授業アンケートについて

■概要

本学では、実習科目を除く全科目の14回目または15回目で約10分程度の時間を設け、授業アンケートを実施している。学生は、学生ポータルサイトからアンケートに無記名式で回答する。

■実施期間

学年暦において14回目または15回目の授業内で授業アンケートを実施する。

秋学期開講科目は、令和6年12月9日～令和7年1月7日に実施した。

■授業アンケートの活用

授業アンケートの集計結果（学務課教務担当による集計）、科目レベルの学修成果の査定結果（授業アンケートによる学生の達成実感度と科目GPAによる査定）の主に2点をふまえて、授業検討票に省察を記録する。

本学の科目レベルの査定においては、学生の達成実感度60%以上かつ、科目GPAが2.00から3.00までのときを、望ましい水準とアセスメント・プランに定めている。

これらをふまえて、科目担当教員は授業に関してどのような工夫をすれば学生がより学修成果を獲得できるかを検討し、次年度に向けたシラバス改善案を記録する。

さらに、全科目の授業アンケート結果や授業検討票をもとに、各学科の総評を学科長が、全学的総評をFD委員長が行う。このような取り組みにより、科目レベルだけでなく組織的に授業のさらなる質向上に努めている。

授業アンケートの結果は、概要を本学ホームページで過去3年間分、学生ポータルサイトで自由記述欄以外の数値を公開している。また、授業検討票は閉架式にて学務課教務にて保管し、閲覧希望者に開示している。

3. 授業アンケート質問項目

選択式の質問1～8は回答必須とし、自由記述欄である質問9については任意による回答とした。
質問と回答の選択肢を下記に引用する。

1. あなたは、この授業の到達目標がどのくらい達成できましたか。【単一選択式】

シラバス記載の到達目標のうち、関連するディプロマポリシーにおいてカリキュラムマップ上で二重丸がついているものが科目担当教員から学生に1つだけ提示されます。

- ①達成できた ②おおむね達成できた ③達成できなかった

2. 授業内容は興味・関心が持てましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

3. 授業内容をよく理解できましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

4. この授業はシラバスに沿った内容でしたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

5. 学生の理解を促す工夫がなされていましたか。【単一選択式】

(言葉による説明だけではなく、適切な資料、板書等の活用、グループワーク)

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

6. 工夫してほしいと感じたことを選んでください。【複数選択式】

- ①私語への対応 ②聞き取りやすい話し方 ③教科書・配布資料の活用
④分かりやすいパワーポイントや板書 ⑤特になし

7. 教員は学生の理解や反応を見ながら授業を進めていましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

8. あなたは、この授業の予習・復習など自主学修に1週間あたりどのくらいかけましたか。【単一選択式】

※授業に間接的に関係のある学修を含む。学内外を問わず、授業時間以外の時間を回答（ピアノ練習、基礎プロ準備、実習準備等）

- ①3時間以上 ②2時間以上3時間未満 ③1時間以上2時間未満
④30分以上1時間未満 ⑤30分未満

9. あなたがこの授業を受ける中で感じた良かった点や改善してほしい点があれば、記述してください。

(特に記述することが無い場合は空欄のままです)

自由記述欄

4 - (1). 授業アンケート集計結果 (全学)

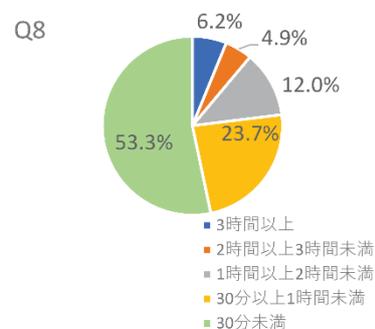
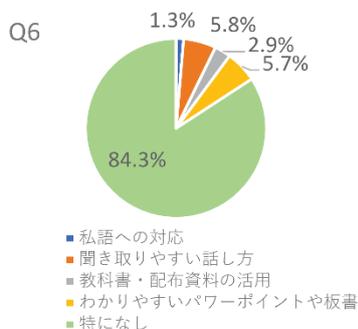
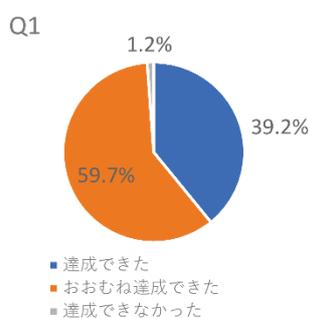
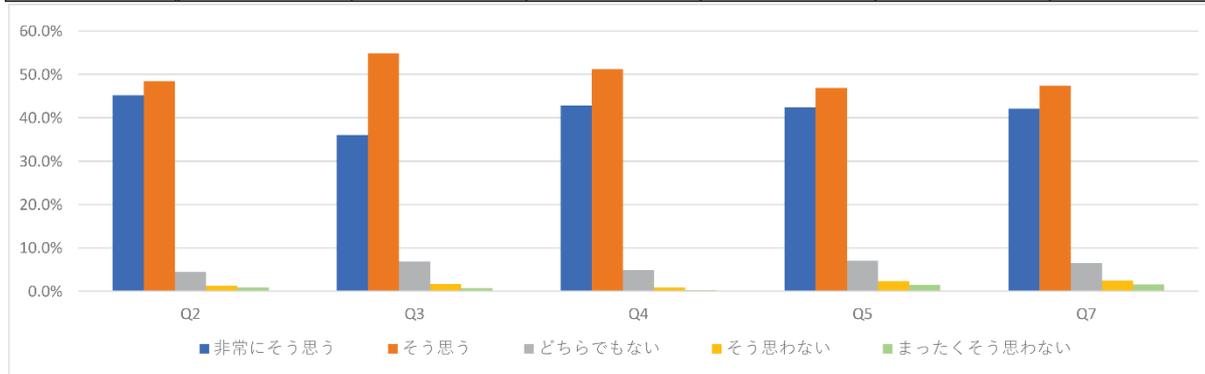
●全体 集計

受講人数	回収数	回収率
1268	1203	94.9%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	471	718	14	-	-	1203
Q2	543	582	53	15	10	1203
Q3	433	659	82	20	9	1203
Q4	515	616	59	10	3	1203
Q5	510	564	84	28	17	1203
Q6	17	74	37	72	1070	1270
Q7	507	570	78	29	19	1203
Q8	74	59	144	285	641	1203

	1	2	3	4	5	計
Q1	39.2%	59.7%	1.2%	-	-	100.0%
Q2	45.1%	48.4%	4.4%	1.2%	0.8%	100.0%
Q3	36.0%	54.8%	6.8%	1.7%	0.7%	100.0%
Q4	42.8%	51.2%	4.9%	0.8%	0.2%	100.0%
Q5	42.4%	46.9%	7.0%	2.3%	1.4%	100.0%
Q6	1.3%	5.8%	2.9%	5.7%	84.3%	100.0%
Q7	42.1%	47.4%	6.5%	2.4%	1.6%	100.0%
Q8	6.2%	4.9%	12.0%	23.7%	53.3%	100.0%



4 - (2). 授業アンケート集計結果 (国文学科全体)

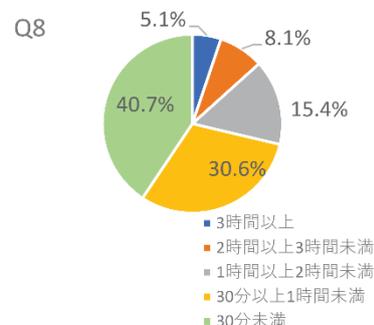
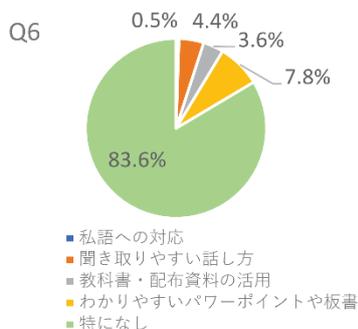
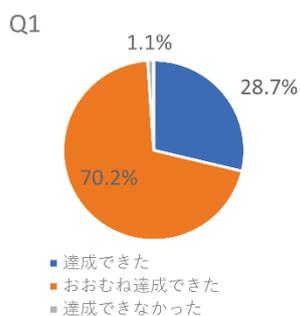
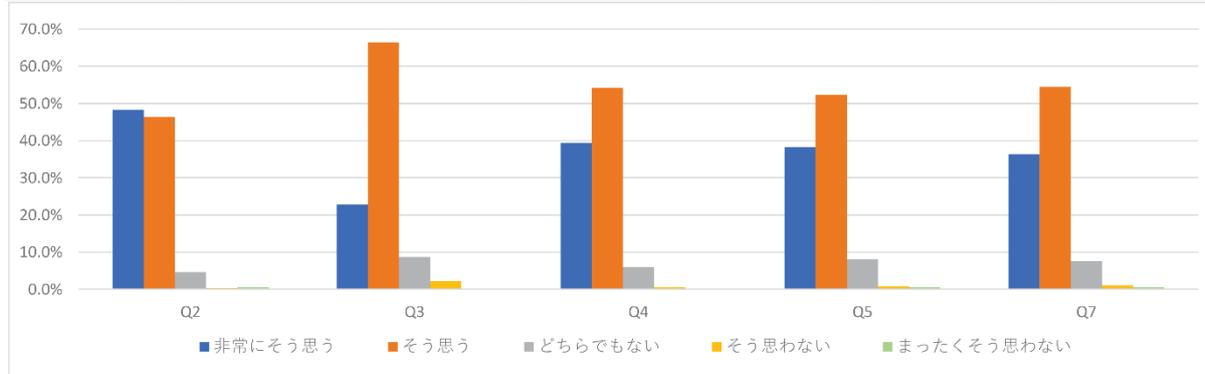
●国文学科 全体集計

受講人数	回収数	回収率
412	369	89.6%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	106	259	4	-	-	369
Q2	178	171	17	1	2	369
Q3	84	245	32	8	0	369
Q4	145	200	22	2	0	369
Q5	141	193	30	3	2	369
Q6	2	17	14	30	321	384
Q7	134	201	28	4	2	369
Q8	19	30	57	113	150	369

	1	2	3	4	5	計
Q1	28.7%	70.2%	1.1%	-	-	100.0%
Q2	48.2%	46.3%	4.6%	0.3%	0.5%	100.0%
Q3	22.8%	66.4%	8.7%	2.2%	0.0%	100.0%
Q4	39.3%	54.2%	6.0%	0.5%	0.0%	100.0%
Q5	38.2%	52.3%	8.1%	0.8%	0.5%	100.0%
Q6	0.5%	4.4%	3.6%	7.8%	83.6%	100.0%
Q7	36.3%	54.5%	7.6%	1.1%	0.5%	100.0%
Q8	5.1%	8.1%	15.4%	30.6%	40.7%	100.0%



4 - (3). 授業アンケート集計結果 (国文学科1年生)

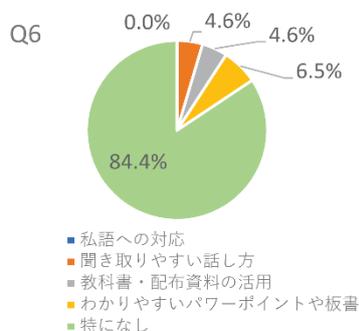
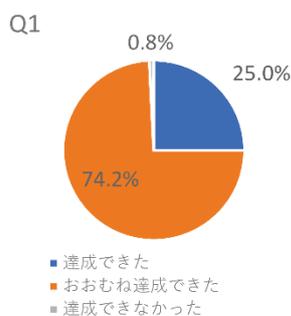
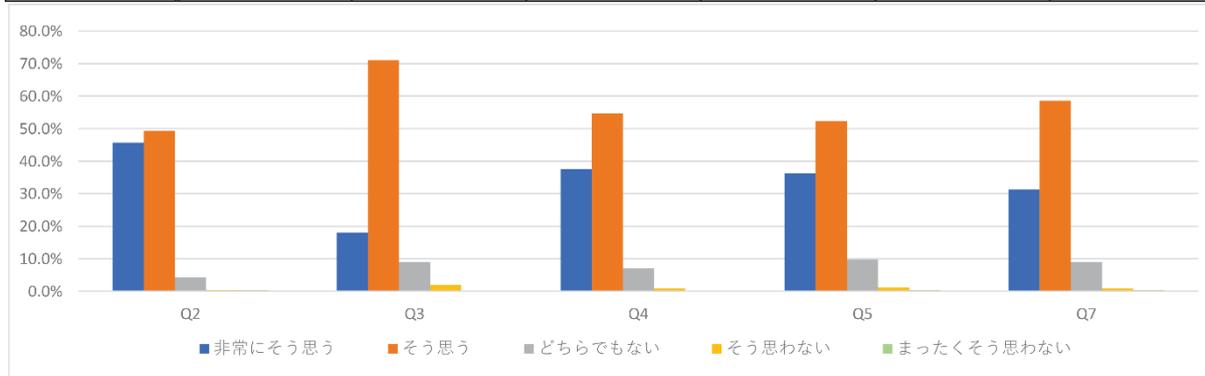
●国文学科1年次生集計

受講人数	回収数	回収率
287	256	89.2%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	64	190	2	-	-	256
Q2	117	126	11	1	1	256
Q3	46	182	23	5	0	256
Q4	96	140	18	2	0	256
Q5	93	134	25	3	1	256
Q6	0	12	12	17	222	263
Q7	80	150	23	2	1	256
Q8	8	17	35	84	112	256

	1	2	3	4	5	計
Q1	25.0%	74.2%	0.8%	-	-	100.0%
Q2	45.7%	49.2%	4.3%	0.4%	0.4%	100.0%
Q3	18.0%	71.1%	9.0%	2.0%	0.0%	100.0%
Q4	37.5%	54.7%	7.0%	0.8%	0.0%	100.0%
Q5	36.3%	52.3%	9.8%	1.2%	0.4%	100.0%
Q6	0.0%	4.6%	4.6%	6.5%	84.4%	100.0%
Q7	31.3%	58.6%	9.0%	0.8%	0.4%	100.0%
Q8	3.1%	6.6%	13.7%	32.8%	43.8%	100.0%



4 - (4). 授業アンケート集計結果 (国文学科2年生)

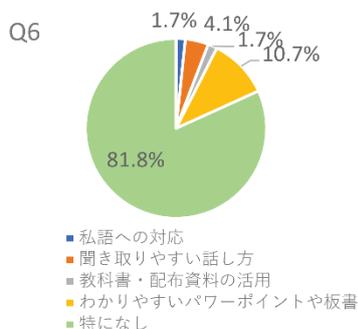
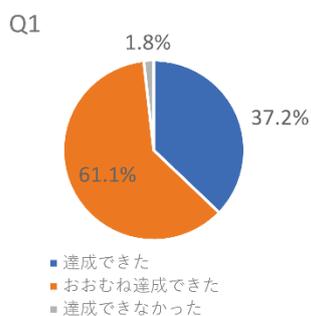
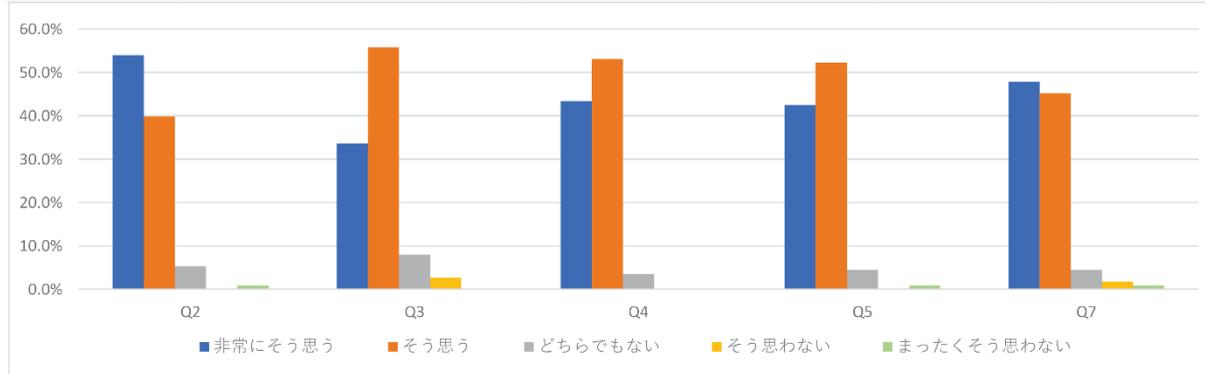
●国文学科2年次生集計

受講人数	回収数	回収率
125	113	90.4%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	42	69	2	-	-	113
Q2	61	45	6	0	1	113
Q3	38	63	9	3	0	113
Q4	49	60	4	0	0	113
Q5	48	59	5	0	1	113
Q6	2	5	2	13	99	121
Q7	54	51	5	2	1	113
Q8	11	13	22	29	38	113

	1	2	3	4	5	計
Q1	37.2%	61.1%	1.8%	-	-	100.0%
Q2	54.0%	39.8%	5.3%	0.0%	0.9%	100.0%
Q3	33.6%	55.8%	8.0%	2.7%	0.0%	100.0%
Q4	43.4%	53.1%	3.5%	0.0%	0.0%	100.0%
Q5	42.5%	52.2%	4.4%	0.0%	0.9%	100.0%
Q6	1.7%	4.1%	1.7%	10.7%	81.8%	100.0%
Q7	47.8%	45.1%	4.4%	1.8%	0.9%	100.0%
Q8	9.7%	11.5%	19.5%	25.7%	33.6%	100.0%



4 - (5). 授業アンケート集計結果 (子ども学科全体)

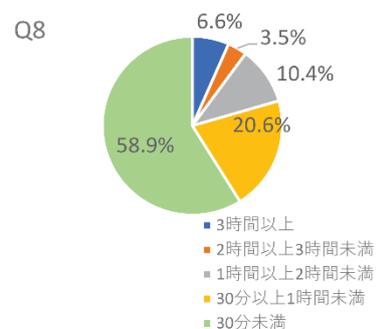
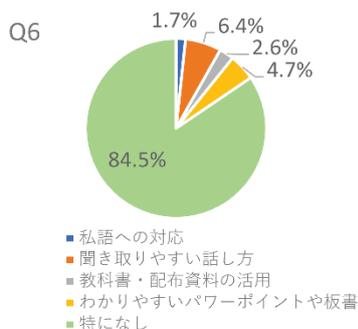
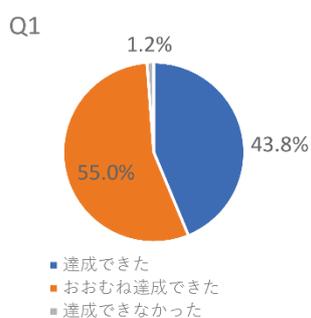
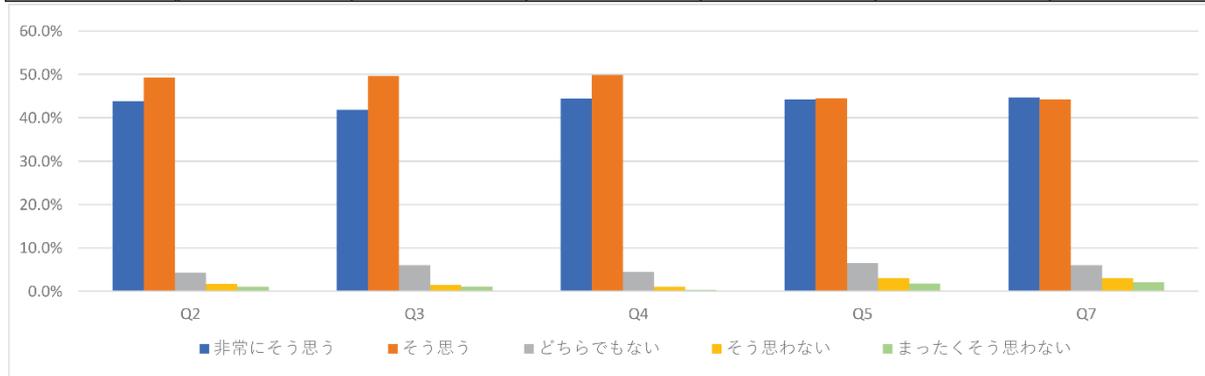
●子ども学科 全体集計

受講人数	回収数	回収率
856	834	97.4%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	365	459	10	-	-	834
Q2	365	411	36	14	8	834
Q3	349	414	50	12	9	834
Q4	370	416	37	8	3	834
Q5	369	371	54	25	15	834
Q6	15	57	23	42	749	886
Q7	373	369	50	25	17	834
Q8	55	29	87	172	491	834

	1	2	3	4	5	計
Q1	43.8%	55.0%	1.2%	-	-	100.0%
Q2	43.8%	49.3%	4.3%	1.7%	1.0%	100.0%
Q3	41.8%	49.6%	6.0%	1.4%	1.1%	100.0%
Q4	44.4%	49.9%	4.4%	1.0%	0.4%	100.0%
Q5	44.2%	44.5%	6.5%	3.0%	1.8%	100.0%
Q6	1.7%	6.4%	2.6%	4.7%	84.5%	100.0%
Q7	44.7%	44.2%	6.0%	3.0%	2.0%	100.0%
Q8	6.6%	3.5%	10.4%	20.6%	58.9%	100.0%



4 - (6). 授業アンケート集計結果 (子ども学科1年生)

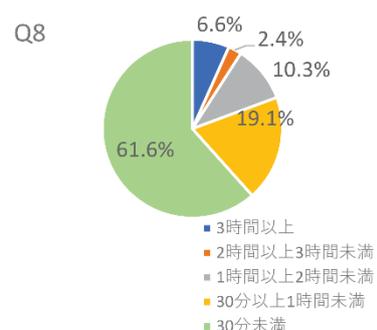
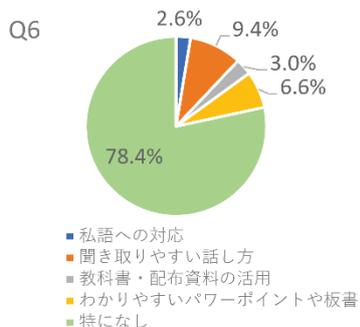
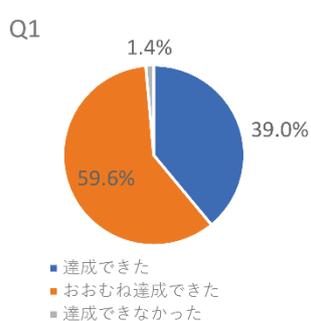
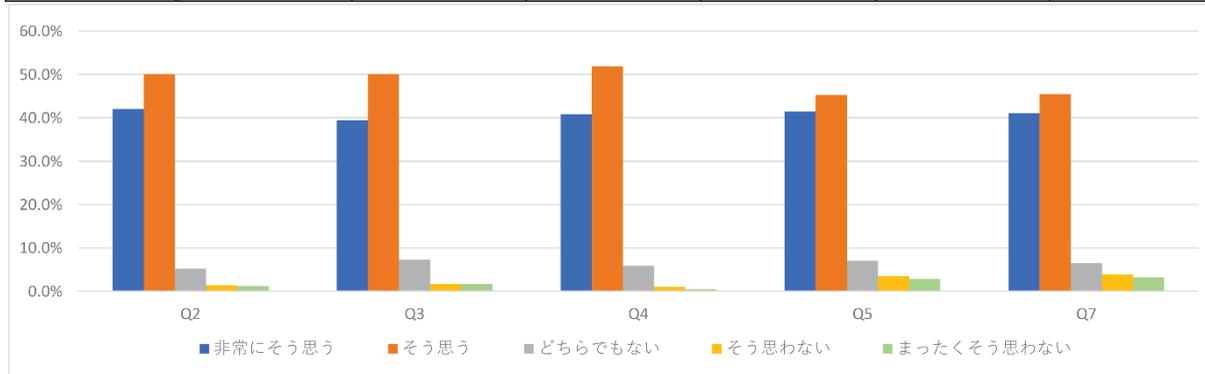
●子ども学科1年次生集計

受講人数	回収数	回収率
508	497	97.8%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	194	296	7	-	-	497
Q2	209	249	26	7	6	497
Q3	196	249	36	8	8	497
Q4	203	258	29	5	2	497
Q5	206	225	35	17	14	497
Q6	14	51	16	36	425	542
Q7	204	226	32	19	16	497
Q8	33	12	51	95	306	497

	1	2	3	4	5	計
Q1	39.0%	59.6%	1.4%	-	-	100.0%
Q2	42.1%	50.1%	5.2%	1.4%	1.2%	100.0%
Q3	39.4%	50.1%	7.2%	1.6%	1.6%	100.0%
Q4	40.8%	51.9%	5.8%	1.0%	0.4%	100.0%
Q5	41.4%	45.3%	7.0%	3.4%	2.8%	100.0%
Q6	2.6%	9.4%	3.0%	6.6%	78.4%	100.0%
Q7	41.0%	45.5%	6.4%	3.8%	3.2%	100.0%
Q8	6.6%	2.4%	10.3%	19.1%	61.6%	100.0%



4 - (7). 授業アンケート集計結果 (子ども学科2年生)

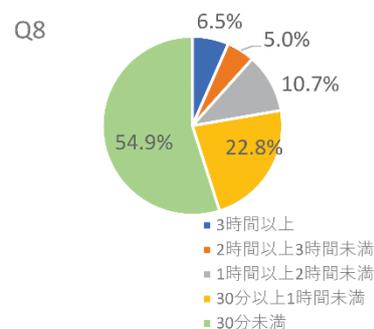
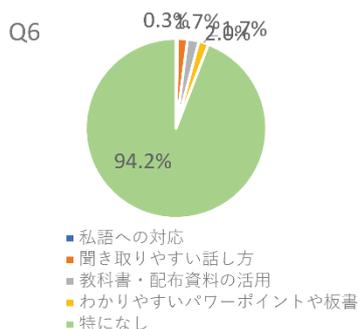
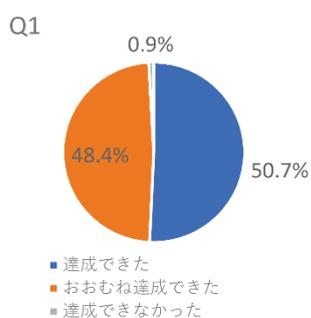
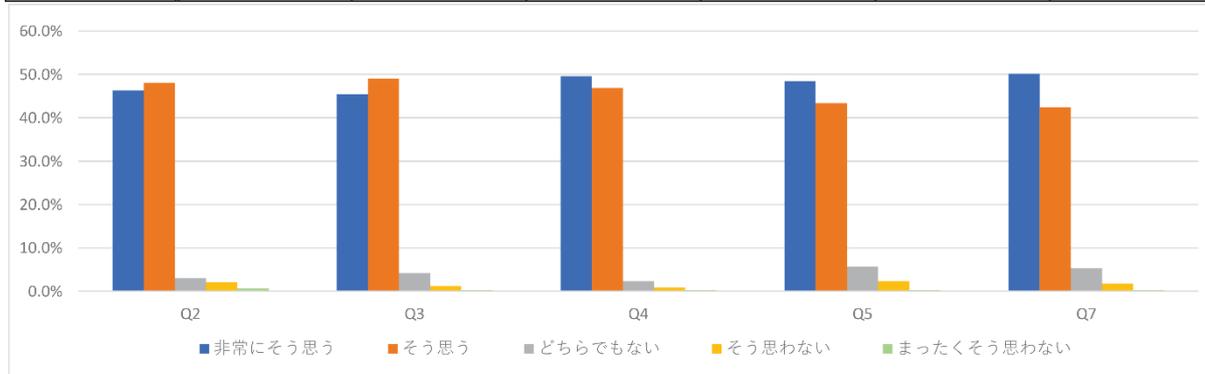
●子ども学科2年次生集計

受講人数	回収数	回収率
348	337	96.8%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	171	163	3	-	-	337
Q2	156	162	10	7	2	337
Q3	153	165	14	4	1	337
Q4	167	158	8	3	1	337
Q5	163	146	19	8	1	337
Q6	1	6	7	6	324	344
Q7	169	143	18	6	1	337
Q8	22	17	36	77	185	337

	1	2	3	4	5	計
Q1	50.7%	48.4%	0.9%	-	-	100.0%
Q2	46.3%	48.1%	3.0%	2.1%	0.6%	100.0%
Q3	45.4%	49.0%	4.2%	1.2%	0.3%	100.0%
Q4	49.6%	46.9%	2.4%	0.9%	0.3%	100.0%
Q5	48.4%	43.3%	5.6%	2.4%	0.3%	100.0%
Q6	0.3%	1.7%	2.0%	1.7%	94.2%	100.0%
Q7	50.1%	42.4%	5.3%	1.8%	0.3%	100.0%
Q8	6.5%	5.0%	10.7%	22.8%	54.9%	100.0%



5 - (1). 全学的考察 (授業アンケート結果について)

今期も昨年度の秋学期と同様、8項目の授業アンケートと自由記述を行った。ここでは、その中の5項目のアンケート結果を中心に考察する。

質問項目 (1) あなたは、この授業の到達目標がどのくらい達成できましたか。

	達成できた	おおむね達成できた	合計
令和4年度秋学期	40.6%	57.1%	97.7%
令和5年度春学期	50.6%	46.2%	96.8%
令和5年度秋学期	43.4%	54.0%	97.4%
令和6年度春学期	42.4%	55.6%	98.0%
令和6年度秋学期	39.2%	59.7%	98.9%

「達成できた」と回答した学生は、昨年度同期の秋学期から 4.2 ポイント減少しているが、「おおむね達成できた」とあわせると 1.5 ポイント上昇していて、合計においては最近では最高の 98.9%という高い数字を示した。

質問項目 (2) 授業内容は興味・関心が持てましたか。

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和4年度秋学期	44.5%	47.4%	91.9%
令和5年度春学期	55.4%	37.3%	92.7%
令和5年度秋学期	45.7%	47.7%	93.4%
令和6年度春学期	47.5%	44.7%	92.2%
令和6年度秋学期	45.1%	48.4%	93.5%

「非常にそう思う」と「そう思う」の合計は、昨年同期と比較して 0.1 ポイントの上昇であり、継続的に 9 割以上の学生が興味・関心をもって参加することができている。わずかではあるが右肩上がりの数字で、3 年間通年比較においても過去最高の結果となっている。

質問項目 (3) 授業内容をよく理解できましたか。

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和4年度秋学期	38.1%	52.2%	90.3%
令和5年度春学期	45.2%	45.2%	90.4%
令和5年度秋学期	37.4%	52.1%	89.5%
令和6年度春学期	37.6%	50.8%	88.4%
令和6年度秋学期	36.0%	54.8%	90.8%

「非常にそう思う」と回答した学生は、昨年度同期の秋学期から 1.4 ポイント減少しているが、「そう思う」とあわせると 1.3 ポイント上昇していて、合計においては最近では最高の 90.8%という高い数字を示した。

質問項目（5）学生の理解を促す工夫がなされていましたか。（言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用、グループワーク）

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和4年度秋学期	42.0%	49.1%	91.1%
令和5年度春学期	54.6%	38.1%	92.7%
令和5年度秋学期	44.6%	46.8%	91.4%
令和6年度春学期	46.5%	44.7%	91.2%
令和6年度秋学期	42.4%	46.9%	89.3%

「非常にそう思う」と回答した学生は、昨年度同期の秋学期よりも2.2ポイント減少していて、「非常にそう思う」「そう思う」の合計でも2.1ポイント減少しているので、教員の授業の理解を促す工夫をもう一步向上させる必要がある。

質問項目（8）あなたは、この授業の予習・復習など自主学習に1週間あたりどのくらいかけましたか。

※授業に間接的に関係のある学修を含む。学内外を問わず、授業時間以外の時間を回答（例 ピアノ練習、基礎プロ準備、実習準備等）

	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満
令和4年度秋学期	7.3%	7.4%	16.5%	23.5%	45.3%
令和5年度春学期	2.3%	5.8%	21.9%	28.8%	41.2%
令和5年度秋学期	7.2%	5.2%	17.1%	25.9%	44.6%
令和6年度春学期	4.7%	3.7%	14.2%	30.0%	47.5%
令和6年度秋学期	6.2%	4.9%	12.0%	23.7%	53.3%

自主学修時間が「2時間以上」及び「3時間以上」の合計は、昨年度同期の秋学期から1.3%減少している。「30分未満」についても、8.7ポイント増えており、次年度は予習・復習など自主学修の内容や仕方など、さらに丁寧に指導していく必要がある。

5-（2）. 全学的考察（授業の質向上のために）

質問項目（1）（2）（3）とも、わずかではあるが例年を上回り、過去最高の結果となった。

反面、授業において学生の理解を促す工夫（質問項目（5））については、さらに工夫改善が求められる。

また、自主学習時間（質問（8））についての結果は例年の結果より厳しい結果となった。

家庭での学修習慣を定着させるためには、個々の学生の学修へのモチベーションや学修意欲の向上が不可欠である。シラバスには、予習・復習の内容と時間を明記しており、反転授業の実施や予習・復習に係る課題も提示しているが、家庭での学修習慣の定着に向けて一層の取組みが必要である。自主学習の充実を図るには、授業と自主学習を接続することが大切であり、課題の出し方や自主学習の評価方法を工夫する必要がある。

今年度のFD研修では、「生成AI活用の時代に、大学ではどう対処していったらいいか」について研修した。この点も考慮の上、よりよい授業づくりを行っていききたい。

今後も教員のFD研修を計画的に実施し、学生が意欲的に学べる授業改善をめざして、大学全体として授業の質の向上を図っていききたい。

6－(1)．国文学科全体の考察（授業アンケート結果について）

質問項目（3）「授業内容をよく理解できましたか」について、「非常にそう思う」「そう思う」および両者の合計を過去4年間の同時期と比べると次のようになる。

【表1】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和2年度秋学期	14.5%	73.5%	88.0%
令和3年度秋学期	18.9%	57.3%	76.2%
令和4年度秋学期	31.3%	52.9%	84.2%
令和5年度秋学期	29.6%	57.0%	86.6%
令和6年度秋学期	22.8%	66.4%	89.2%

今年度の数字を過去4年と比較すると、「非常にそう思う」「そう思う」の合計値は令和4年度、5年度に較べると高くはないが、両者を足した合計はこの5年間で最も高い数値を示している。ある意味では、授業内容を非常によく理解できている割合が3割というのは実態と乖離して自己評価が高すぎるという見方もできる。そうした観点からすれば、授業内容を非常によく理解できたと自己評価している層が2割、よく理解できた層が6.5割、というのは実態に近いと思われる。また一定以上の理解ができている層が厚くなっていることは歓迎すべきことであろう。

同じ項目の学年ごとの違いは以下の通りである。

【表2】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1年生	18.0%	71.1%	89.1%
2年生	33.6%	55.8%	89.4%

昨年度の同じデータは次の通りである。

【表3】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1年生	18.5%	67.3%	85.8%
2年生	45.6%	42.2%	87.8%

上のふたつのデータ（【表2】【表3】）を比較すると、さきほど指摘したことがさらに如実に表れている。つまり昨年度の2年生の自己評価が、実態と乖離して高すぎるということである。このことについては昨年度の考察においても、「今年度の2年生の授業内容理解についての自己評価が非常に高いことが目立つ」、「2年生は自己評価が高すぎ、客観的な学修成果の習得状況とズレが存在するとも考えられる」と指摘しておいた。それに較べ、現在の在學生は1・2年ともに実態に近いといえる。また2年生は1年時よりも理解が深まっている、少なくともそのように自己評価していることがわかる。

質問項目（8）の学習時間について、学年ごとの集計は以下の通りである。

【表4】	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満
1年生	3.1%	6.6%	13.7%	32.8%	43.8%
2年生	9.7%	11.5%	19.5%	25.7%	33.6%

数年来の傾向として、学年や学習が進むにつれて、授業外での学習時間も増加している。

1年生については、春学期と比較すると2時間以上学習している層と30分未満の層とが増加しており、両極化が進んでいる。特に30分未満の層の増加は、大学への慣れが関係していると考えられる。この層が2年生になってどのように変化するかを注視したい。

2年生について、こちらも春学期と比較すると、30分未満の層が減って30分以上1時間未満の層が増加、1時間以上2時間未満の層が減って2時間以上の層が増加と、それぞれ学習時間が増えていることがわかる。

6－(2)．国文学科全体の考察（授業の質向上のために）

この数年間、毎回のように述べていることは、一定の学習時間が確保されていること、学習習慣が多くの学生にある程度身についてきていること、学修が進むにつれておおむね学習時間も増加していること、などである。そして、よほどの必要があって授業外学習を強要しない限り、現在の学生に現状を超えた学習時間の増加を求めることは難しいことである。

そうした状況を受け、授業外学習の量ではなく、質的転換を図る必要があることも指摘してきた。どのように質的転換を図るかは課題であり続けている。とりわけ授業において、先行研究文献を入手してそれを活用することや、授業外でグループワークを行うことは、専門性や社会性、自主性を伸ばすものとして進めているところである。

また、授業外学習の時間をいたずらに増やすことを考えるのではなく、自主的な読書や社会活動といった、いわゆる授業外学習には該当しないが、人格的陶冶や自主性・社会性の涵養に資する活動に促す試みも重要と考える。そういった点では、各授業を通じた読書や調べものへの誘い、司書の学びと関連した図書館関係の催し、認定絵本士資格を取得した者（取得を希望する者を含む）による絵本読み聞かせイベントへの参加などは、授業外学習の時間には必ずしも当てはまらないが、学修の質向上に資するものと評価している。

7－(1)．子ども学科全体の考察（授業アンケート結果について）

①授業アンケート結果について

質問項目 2、質問項目 3、質問項目 5 について、4 年間の秋学期の回答を比較してみると、次のような結果であった。

○質問項目 2：授業内容に興味・関心が持てたか

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和 3 年度秋学期	37.0%	54.3%	91.3%
令和 4 年度秋学期	44.4%	47.4%	91.8%
令和 5 年度秋学期	45.1%	47.5%	92.6%
令和 6 年度秋学期	43.8%	49.3%	93.1%

○質問項目 3：授業内容をよく理解できたか

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和 3 年度秋学期	32.2%	58.1%	90.3%
令和 4 年度秋学期	40.1%	52.4%	92.5%
令和 5 年度秋学期	41.2%	49.7%	90.9%
令和 6 年度秋学期	41.8%	49.6%	91.4%

○質問項目 5：学生の理解を促す工夫がなされていたか

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和 3 年度秋学期	35.6%	51.7%	87.3%
令和 4 年度秋学期	43.8%	47.3%	91.1%
令和 5 年度秋学期	45.5%	44.1%	89.6%
令和 6 年度秋学期	44.2%	44.5%	88.7%

どの項目についても、ここ数年高い評価を示す結果がでてきている。質問項目 2 の授業内容への興味・関心では、「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生は、この 4 年間で最高となった。また、質問項目 3 の授業内容へ

の理解も、「非常にそう思う」と回答した学生は年々増加している。9割を超える学生が、授業内容に興味・関心を持って意欲的に学び、授業内容の理解も深まったととらえている。質問項目5の学生の理解を促す工夫については、「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生が、9割弱と高い評価を示しているものの、昨年度同期より0.9ポイント減少した。秋学期は、多くの科目でグループワークや体験的な学びを重視して授業を行ってきたが、約1割近い学生は「どちらでもない」「そう思わない」「全くそう思わない」と回答している。

②学生の学修時間について

次に、「当該授業に関する授業外学修時間(週)」について、5年間の秋学期の回答を比較してみると、次のような結果であった。

○質問項目8：当該授業に関する授業外学修時間(週)

	3時間以上	2時間以上～3時間未満	1時間以上～2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満
令和2年度秋学期	12.2%	11.4%	23.1%	22.9%	30.4%
令和3年度秋学期	8.0%	7.9%	17.8%	22.8%	43.6%
令和4年度秋学期	6.1%	7.1%	13.5%	21.4%	51.8%
令和5年度秋学期	7.8%	4.8%	15.0%	24.2%	48.2%
令和6年度秋学期	6.6%	3.5%	10.4%	20.6%	58.9%

1週間あたりの自主学修の時間は、コロナ禍による遠隔授業で増加したもののコロナ以降減少している。

その原因の一つとして考えられるのは、令和4年度入学生から教員免許取得のための履修科目数が増加し、以前よりも過密なカリキュラム構成・時間割になっていることである。2年間という短期大学での保育者・教育者養成のため時間割に余裕がなく、5時限終了は18時前になる。そのため、学生の平日の授業外学修時間は限られてしまう。また、授業終了後や週末にアルバイトをしている学生も多く、自主学修の時間の確保が厳しい状況にある。そうした中で、今学期「30分未満」と回答した学生は、昨年度より10ポイント以上増加した。

学年別に春学期と秋学期の「当該授業に関する授業外学修時間(週)」を比較すると、次のような結果となった。

子ども学科 1年生	3時間以上	2時間以上～3時間未満	1時間以上～2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満
令和6年度春学期	4.8%	3.1%	13.1%	27.6%	51.3%
令和6年度秋学期	6.6%	2.4%	10.3%	19.1%	61.6%

子ども学科 2年生	3時間以上	2時間以上～3時間未満	1時間以上～2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満
令和6年度春学期	5.6%	3.9%	10.9%	23.5%	56.1%
令和6年度秋学期	6.5%	5.0%	10.7%	22.8%	54.9%

両学年とも、授業外学修を週2時間以上している学生は、春学期より若干増加した。しかし、「30分未満」の学生が、1年生では約10ポイント、2年生では約1.2ポイント増加した。「30分未満」の学生は、1年生で6割、2年生で5割を超えており、授業外学修時間の二極化が進んでいる。今後も引き続き、授業外学修時間の指導を充実していく必要がある。学生への課題の出し方を工夫するとともに、学生に求められる学びの姿勢として指導を継続していきたい。

③前年度または前学期の授業アンケート考察時から改善されたことについて

授業の質的な向上に向けた取組みの成果は継続されており、学生のアンケート結果として着実に出てきている。前述した通り、今学期は、学生の授業内容への興味・関心、授業内容の理解において、「非常にそう思う」「そう思

う」と回答したと学生は増加した。また、各学年の授業外学修時間を春学期と秋学期で比較すると、2時間以上自主学修をしている学生の割合は増加傾向にある。授業で出された課題に対して学びをふり返り、自分で調べたり考えたりすることで、授業内容の定着を図ることができる。自主的な学びの姿勢を育てたい。

7-(2). 子ども学科全体の考察 (授業の質向上のために)

PROG や教学 IR の学修成果の査定結果をもとに、学生に力をつけていくための授業のあり方を考えていくことが重要ととらえている。教育課程レベルの学修成果の査定結果から、「課題発見力及び課題解決力を伸ばす必要がある」ことが明らかとなった。また、学生懇談会や学生アンケートによるヒアリング結果からは、「講義形式の授業も多いので、さらにグループワークが取り入れられると良い」という声もある。引き続き、学科として「授業の質の向上」の取組みを進め、グループワークや体験授業等アクティブラーニングを取り入れた授業実践を、様々な授業形態において進めていきたい。そして、アクティブラーニングを積極的に取り入れることで、主体的に学ぶ姿勢を学生に育てていきたい。学科目標に掲げている「授業の質の向上」をより一層進めるためにも、教員が授業に対して創意工夫のある取組みを推進することが重要であり、研修の機会を充実していくことも大切であるとする。併せて、学生の学ぶ意欲、資格免許を取得するという強い意志を育て、主体的な学習態度や困難や不安を乗り越える力の育成にも取り組んでいきたい。

8. 授業アンケート回答率の推移

本学では、令和元(2019)年度より電子媒体である学生ポータルサイト (Campus Plan portal) を利用して授業アンケートを実施している。

本学では授業アンケートは無記名式の回答である。

今学期と過去3年間について、回答率の推移を学科・学年別に比較する。

	国文学科		子ども学科		全学	
	回答率	回答/受講	回答率	回答/受講	回答率	回答/受講
令和3年度春学期	90.7%	556/613	86.8%	1426/1642	87.9%	1982/2255
令和3年度秋学期	90.0%	497/552	82.7%	1340/1620	84.6%	1837/2172
令和4年度春学期	88.6%	504/569	81.7%	1221/1494	83.6%	1725/2063
令和4年度秋学期	92.1%	395/429	76.0%	1040/1398	79.9%	1435/1797
令和5年度春学期	98.9%	447/452	84.6%	884/1045	88.9%	1331/1497
令和5年度秋学期	88.8%	358/403	79.0%	728/921	82.0%	1086/1324
令和6年度春学期	94.5%	433/458	95.9%	962/1003	95.5%	1395/1461
令和6年度秋学期	89.6%	369/412	97.4%	834/856	94.9%	1203/1268
平均・合計	91.5%	3559/3888	84.5%	8435/9979	86.7%	11994/13837

一般的に大学で学生にアンケートを実施する際は、紙媒体の方が電子媒体よりも回収率が高いといわれている。

本学は今年度で電子媒体での授業アンケートの実施は6年目に入り、在学生は全員が入学時より電子媒体で授業アンケートに回答している。

学生がポータルサイトや機器の使用方法にも慣れてきていて、両学科とも近年では高い回答率である。

これからも学生が安心して回答できるよう、授業アンケートは無記名式かつ電子媒体での実施を継続する予定である。次年度以降も引き続き、まず学生の声を聴き授業改善について検討する材料を十分集められるよう、授業内での確実な授業アンケートの実施に努めていく。

以上